

# CA Agile Vision™

## 実装ガイド

Winter 2012



第 2 版

このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複製することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i)本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2011 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

## CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。



# 目次

---

<b>第 1 章: はじめに</b>	<b>7</b>
<b>第 2 章: インストールおよび設定</b>	<b>9</b>
CA Agile Vision のインストール準備 .....	9
CA Agile Vision のインストール .....	11
CA Agile Vision のデプロイ.....	13
CA Agile Vision の設定.....	13
CA Product Vision を使用できるように既存のプロファイルを設定.....	14
OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定 .....	15
<b>第 3 章: 以前のリリースからのアップグレード</b>	<b>17</b>
Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Agile Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする 方法 .....	17
Winter 2012 のユーザ プロファイルの更新 .....	18
Winter 2012 のアップグレード ジョブを実行します.....	21
CA Agile Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード.....	22
CA Agile Vision バージョン 2.5.3 から Spring 2011 へのアップグレード方法.....	25
CA Agile Vision バージョン 2.3 からバージョン 2.5 へのアップグレード.....	26
CA Agile Vision バージョン 1.8 からバージョン 2.5 へのアップグレード.....	28
CA Agile Vision バージョン 1.5 および 1.7 から 1.8 へのアップグレード.....	33
<b>第 4 章: CA Agile Vision のアドイン</b>	<b>39</b>
Agile Vision アドインのダウンロード.....	39
CA Vision アドインのインストール .....	40
CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインのアップグレード.....	40
CA Vision のプロセスとジョブの無効化 .....	40
CA Vision アドインの適用.....	41
CA Vision アドインの設定.....	42



# 第 1 章: はじめに

---

CA Agile Vision™ ヘルプへようこそ。このドキュメントが提供する情報は、この新リリースの使用を開始する際に役に立ちます。

[インストールおよび設定](#) (P. 9)

[以前のリリースからのアップグレード](#) (P. 17)

[CA Agile Vision のアドイン](#) (P. 39)



## 第 2 章: インストールおよび設定

---

既存の Salesforce.com 組織に CA Agile Vision を新規インストールする場合、以下のセクションの手順を完了します。

CA Agile Vision の使用が初めてでも、既存の Salesforce.com 組織がない場合はこれらの手順を完了する必要はありません。CA サポートによって提供される URL とログイン情報を使用して、CA Agile Vision に直接ログインすることができます。

注: 既存の Salesforce.com 組織へインストールするときは、アクティブな Salesforce プラットフォーム ライセンスを 1 つ以上持っていることを確認してください。アクティブなライセンスがない場合は、インストールを中止し、Salesforce.com サポートまたは CA Technologies 販売代理店に連絡してください。Salesforce プラットフォーム ライセンスがないと、インストールの完了に必要な標準プラットフォーム プロファイルが与えられません。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Agile Vision のインストール準備 \(P. 9\)](#)

[CA Agile Vision のインストール \(P. 11\)](#)

[CA Agile Vision のデプロイ \(P. 13\)](#)

[CA Agile Vision の設定 \(P. 13\)](#)

### CA Agile Vision のインストール準備

CA Agile Vision をインストールする前に、Salesforce.com のアクティブなライセンスがあることを確認し、必要なユーザ プロファイルを作成してください。

CA Agile Vision、CA Product Vision または両方の製品をインストールする場合に必要なプロファイルを以下のテーブルに示します。

プロファイル	CA Agile Vision	CA Product Vision	CA Agile Vision および CA Product Vision
Agile Vision スーパーユーザ	X		X
Agile Vision ユーザ	X		X

Product Vision スーパー ユーザ	X	X
Product Vision ユーザ	X	X
Vision スーパーユーザ		X
Vision ユーザ		X

次の手順に従ってください:

1. Salesforce.com 組織にログインします。
2. [設定]リンクをクリックして、Salesforce.com 上の[個人設定]ページに移動します。
3. [管理者設定]メニューから[組織プロフィール]を選択し、[組織情報]に移動します。  
[組織情報]ページが表示されます。
4. [ユーザライセンス]セクションまでスクロールし、少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォーム ライセンスがアクティブになっていることを確認します。少なくとも 1 つの Salesforce プラットフォーム ライセンスがアクティブになっていない場合は、Salesforce.com のサポートにご連絡ください。
5. [管理者設定]メニューから[ユーザの管理]を選択し、プロフィールに移動します。  
ユーザ プロファイル ページが表示されます。
6. この手順のはじめに示されている必要なプロフィールを、標準プラットフォーム ユーザ プロファイルをコピーして作成します。標準プラットフォーム ユーザ プロファイルを利用できるのは、アクティブな Salesforce プラットフォーム ライセンスを 1 つ以上持っている場合だけです。
7. Chatter を有効にするには、以下の手順に従います。
  - a. [アプリケーションの設定]メニューから、[カスタマイズ]をクリックして展開し、[Chatter]をクリックして展開し、次に[設定]をクリックします。  
[Chatter Settings]ページが表示されます。
  - b. [編集]をクリックします。
  - c. [Chatter Settings]セクションで、[有効]チェック ボックスをオンにします。
  - d. [保存]をクリックします。
8. Salesforce.com 組織からログアウトします。

## CA Agile Vision のインストール

インストールを行うには、既存のジョブを削除し、次にウェブサイトにログインしてインストールを開始します。

以下のテーブルに、各ユーザ プロファイルに割り当てられるアクセスレベルを示します。以降の手順で、アクセスレベルの設定を行います。

ユーザ プロ ファイルおよ びアクセスレ ベル	Agile Vision スーパー ユーザ	Agile Vision ユーザ	Product Vision スー パーユーザ	Product Vision ユー ザ	Vision スー パーユーザ	Vision ユー ザ
CA Agile Vision 用	X	X				
CA Agile Vision および CA Product Vision 用	X	X	X	X	X	X

次の手順に従ってください:

- 既存のジョブを削除します。
  - [セットアップ] ページを開き、[管理者設定] セクションの [監視] から [スケジュール済みジョブ] を展開します。
  - 以下のジョブが存在する場合は削除します。
    - ユーザ ストーリー完了ステータスの [チャート] データポイントの生成
    - リリースの [日次チャート] データポイントの生成
    - 要件の [日次チャート] データポイントの生成
    - スプリントの [日次チャート] データポイントの生成
    - すべてのオブジェクトの [日次更新] 外部 ID
    - 要件のトレンドの計算
- ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。サンドボックス環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA00000000Jhxi>

3. [ログイン]ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。
4. 新規バージョンのインストール用に提供されているパスワードを入力し、[サブミット]をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。
5. インストールする CA Technologies - PPM パッケージのバージョンおよび発行者が以下のようになっていることを確認します。
  - Winter 2012
  - CA Technologies
6. [次へ]をクリックして、ウィザードの手順を実行します。  
[セキュリティ オプション]ページが表示されます。
7. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
8. この手順の初めに示されたアクセスレベルを対応するプロファイルに設定して、[次へ]をクリックして続行します。たとえば、Agile Vision スーパー ユーザのアクセスレベルを Agile Vision スーパー ユーザに設定します。
9. [次へ]をクリックして、続行します。
10. [インストール]をクリックします。  
  
ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。インストールが完了すると、Salesforce.com から現在ログインしているユーザの電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。  
Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このインストーラには 30 分以上かかる場合があります。

## CA Agile Vision のデプロイ

デフォルトでは、CA Agile Vision および CA Product Vision の両方が有効です。これらのサービスの一方のライセンスのみを購入された場合は、以下の手順に従って、もう一方を無効にしてください。

次の手順に従ってください:

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。
3. CA Technologies - PPM バージョン 3.0 がインストールされていることを確認します。
4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。  
[パッケージの詳細]ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。  
パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。
6. [デプロイ]を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。  
<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings>

## CA Agile Vision の設定

デプロイ後に、以下の手順を実行して CA Agile Vision を設定します。

次の手順に従ってください:

1. CA Agile Vision にログインし、[設定]メニューをクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理者設定]メニューから[ユーザの管理]を選択し、プロフィールに移動します。  
ユーザ プロファイル ページが表示されます。

CA Agile Vision のインストール準備中に作成した新規プロファイルの[氏名]リンクをクリックします。

プロファイル ページが表示されます。

3. [カスタム App]セクションまでスクロールし、Agile Vision コアの[既定値]オプションを選択します。
4. [保存]をクリックして手順を繰り返し、作成した各新規プロファイルのデフォルトの app として Agile Vision コアを設定します。
5. (CA Agile Vision カスタマのみ。) ブラウザウィンドウのアドレスバー内に以下の URL を入力して、Agile Vision ホーム ページに移動し、ジョブを自動的にスケジュールします。

<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/tophome>

### CA Product Vision を使用できるように既存のプロファイルを設定

既存の Salesforce.com ユーザ プロファイルに CA Agile Vision または CA Product Vision のオブジェクトへのアクセス権を付与するには、プロファイルを編集し、オブジェクトへの読み取りまたは書き込み権限を付与します。プロファイルには、アプリケーションを構成する Visualforce ページの実行許可も必要です。インストール プロセスの開始時に作成したプロファイルを使用して、必要な権限のセットを決定し、必要な設定にコピーします。

詳細については、Force.com プラットフォームのドキュメントを参照してください。

## OOTB チャートおよびレポートの表示権限の設定

ビジョンパブリックダッシュボードでは、すべてのプロファイルの設定が必要です。ユーザが Agile Vision ダッシュボード、または Product Vision ダッシュボードからチャートおよびレポートを表示できるように、管理者がプロファイルを設定する必要があります。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインし、[セットアップ]をクリックします。
2. [ダッシュボード]をクリックし、Agile Vision ダッシュボードなどの Vision ダッシュボードの 1 つを開きます。
3. [編集]をクリックします。  
ダッシュボード編集オプションのページが表示されます。
4. ダッシュボード表示設定用のフィールドに「\*(アスタリスク)」を入力して、アクティブなユーザをフィルタします。管理者権限のないユーザ ID を選択します。
5. [保存]をクリックします。
6. [ダッシュボードの表示]フィールドの隣にある下矢印キーをクリックし、[ログインユーザとして実行]を選択します。
7. [OK]をクリックします。
8. この手順の最後にある表に従って、Salesforce プラットフォームプロファイルを設定します。
  - a. [セットアップ]ページに戻り、[ユーザの管理]、次に[プロファイル]を展開します。
  - b. プロファイルの名前をクリックし、[編集]をクリックします。
    - Vision スーパーユーザ
    - Vision ユーザ
    - Agile Vision スーパーユーザ
    - Agile Vision ユーザ
    - Product Vision スーパーユーザ
    - Product Vision ユーザ
  - c. [管理権限]までスクロールして、前のテーブル内の値に基づいて権限を選択またはクリアします。

- d. [一般ユーザ権限]までスクロールして、前のテーブル内の値に基づいて権限を選択またはクリアします。
- e. [保存]をクリックし、各プロファイルについて必要に応じてこの手順を繰り返します。

ユーザ ID にプロファイルを割り当てると、割り当てられたユーザはビジョンパブリックダッシュボード上でのチャートおよびレポートへのアクセス権限を与えられます。ユーザは、プロファイルに関連付けられた権限に基づき、表示、変更、クローン、その他のアクションの実行が可能です。

権限タイプ	スーパー ユーザ	一般ユーザ
<b>管理</b>		
パブリックレポートの管理	はい	いいえ
ダッシュボードの管理	はい	はい
ダイナミックダッシュボードの管理	はい	はい
<b>一般ユーザ</b>		
レポートの作成およびカスタマイズ	はい	はい
レポートビルダ	はい	はい
レポートの実行	はい	はい
レポートのエクスポート	はい	はい
ダッシュボードビルダのドラッグアンドドロップ	はい	はい
チームに割り当てられたダッシュボードの表示	はい	はい

# 第 3 章: 以前のリリースからのアップグレード

---

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Agile Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする方法 \(P. 17\)](#)

[CA Agile Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード \(P. 22\)](#)

[CA Agile Vision バージョン 2.5.3 から Spring 2011 へのアップグレード方法 \(P. 25\)](#)

[CA Agile Vision バージョン 2.3 からバージョン 2.5 へのアップグレード \(P. 26\)](#)

[CA Agile Vision バージョン 1.8 からバージョン 2.5 へのアップグレード \(P. 28\)](#)

[CA Agile Vision バージョン 1.5 および 1.7 から 1.8 へのアップグレード \(P. 33\)](#)

## Spring 2011 バージョン 2.10 から CA Agile Vision Winter 2012 バージョン 3.0 にアップグレードする方法

このセクションでは、Spring 2011 リリースから Winter 2012 インスタンス CA Agile Vision へのアップグレードについて説明します。

**重要:** CA Agile Vision Winter 2012 へのアップグレードと CA Product Vision および CA Clarity PPM 用の CA Agile Vision アドインのアップグレードを同時に完了するように計画してください。同時にアップグレードを完了することにより、リリースレベルを確実に同一にすることができます。

**必須:** バージョン 2.10 からのアップグレード。以前のリリースをインストールしている場合、V3.0 にアップグレードする前に V2.10 にアップグレードする必要があります。

CA Agile Vision のアップグレード プロセスでは、管理者が準備、アップグレード、およびデプロイなどの複数のタスクを行う必要があります。アップグレードプロセスのタスクには以下のものが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者として [Salesforce.com](#) にログイン。
2. Winter 2012 リリースのインストール。

3. [パッケージのデプロイ](#)。(P. 13)
4. ユーザ プロファイルの更新。
5. アップグレードジョブの実行。

## Winter 2012 のユーザ プロファイルの更新

この手順では、CA Agile Vision プロファイルの Apex Class アクセスおよびカスタム オブジェクト権限を更新する方法について説明します。

**注:** 以下のセクションの各ユーザ プロファイルで更新するページのリストにおいて、ネームスペース(プレフィクス) *ca\_agile* は含まれていません。このプレフィクスはユーザ インターフェース内の各ページ名に付けられます。

**次の手順に従ってください:**

1. [セットアップ]をクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理セットアップ]メニューから[ユーザの管理]をクリックして展開し、[プロファイル]をクリックします。  
プロファイルリスト ページが表示されます。
3. ユーザ プロファイルをリスト内で探し、プロファイル名をクリックします。  
プロファイル ページが表示されます。各プロファイルの指定された権限を更新します。

### Agile Vision スーパーユーザ

- a. [Enabled Apex Class Access]をクリックし、[編集]をクリックします。  
[Enabled Apex Class Access]ページが表示されます。
- b. Enabled Apex Class から[XMLSObjectField]を選択し、[追加] (右矢印) をクリックして Enabled Apex Class を追加します。
- c. [保存]をクリックし、次に[戻る]をクリックします。

#### Agile Vision ユーザ

- a. プロファイルの詳細セクションの[編集]をクリックします。
- b. [Custom Object Permissions]までスクロールし、以下のオブジェクトの[編集]の権限を選択します。
  - 製品
  - リリース
  - スプリント
  - スプリントチーム
  - [保存]をクリックします。
- c. [Enabled Apex Class Access]をクリックし、[編集]をクリックします。
- d. Enabled Apex Class から[XMLSObjectField]を選択し、[追加] (右矢印) をクリックして Enabled Apex Class を追加します。
- e. [保存]をクリックし、[ユーザ プロファイル]ページに戻ります。

#### Vision スーパーユーザ

- a. [Enabled Apex Class Access]をクリックし、[編集]をクリックします。
- b. Enabled Apex Class から[XMLSObjectField]を選択し、[追加] (右矢印) をクリックして Enabled Apex Class を追加します。
- c. [保存]をクリックし、[ユーザ プロファイル]ページに戻ります。

#### Vision ユーザ

- a. プロファイルの詳細セクションの[編集]をクリックします。
- b. [Custom Object Permissions]までスクロールし、以下のオブジェクトの[編集]の権限を選択します。
  - スプリント
  - スプリントチーム

- c. [保存]をクリックします。
- d. [Enabled Apex Class Access]をクリックし、[編集]をクリックします。
- e. Enabled Apex Class から[XMLSObjectField]を選択し、[追加] (右矢印) をクリックして Enabled Apex Class を追加します。
- f. [追加]をクリックして、[保存]をクリックします。
- g. [保存]をクリックします。
- h. [Visualforce ページへのアクセスの有効化]をクリックし、[編集]をクリックします。
- i. 有効にした Visualforce ページへの以下の許可を追加します。  
**SprintTeamEdit**
- j. [保存]をクリックし、[ユーザ プロファイル]ページに戻ります。

## Winter 2012 のアップグレード ジョブを実行します

新しいパッケージへのアップグレードを完了するために、アップグレード ジョブを実行します。

次の手順に従ってください:

1. システム管理者としてログインします。
2. [設定]をクリックして [Salesforce.com](https://www.salesforce.com) のセットアップ ページを開きます。
3. ログインしたユーザの名前(ページ ヘッダ上)をクリックし、[システム ログ]を選択します。
4. [Apex の実行]セクションのテキスト フィールドに以下のステートメントをコピーし、[実行]をクリックします。

注: [Salesforce.com](https://www.salesforce.com) では、最大の 5 つのジョブを一度に実行することができます。ジョブ ステートメントを 3 つずつにまとめてペーストするなどしてください。

CA Agile Vision および CA Product Vision の両方をアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TeamDailyDataMigrationJob());
```

```
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());  
Database.executeBatch(new  
ca_agile.RequirementClosedDateUpgradeJob('ca_agile'),200);
```

CA Agile Vision のみをアップグレードする場合は、以下のジョブを実行します。

```
Database.executeBatch(new ca_agile.ProductMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TaskMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.TeamDailyDataMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.FilterPageNameMigrationJob());  
Database.executeBatch(new ca_agile.ReleaseDescriptionMigrationJob());
```

5. [設定]ページで、[管理者設定] > [監視] > [Apex ジョブ]を展開し、サブミットされたジョブが完了するまで監視します。
6. CA Agile Vision にログインし、[ホーム]ページを開きます。

CA Agile Vision および CA Product Vision ジョブが自動的に再スケジュールされます。

## CA Agile Vision バージョン 2.8 からバージョン 2.10 へのアップグレード

インストールおよびパッケージのデプロイを行なって、CA Agile Vision バージョン 2.10 にアップグレードします。

**必須:** バージョン 2.8 からのアップグレード。以前のリリースをインストールしている場合、V2.10 にアップグレードする前に V2.8 にアップグレードする必要があります。

**重要:** CA Agile Vision および CA Product Vision Spring 2011 (バージョン 2.10) へのアップグレードは、CA Clarity PPM 用の CA Agile Vision アドインへのアップグレードと同時に進行するように計画してください。リリースレベルを同じにするためです。

CA Agile Vision および CA Product Vision のアップグレードプロセスでは、管理者が準備、アップグレード、およびデプロイなどの複数のタスクを行う必要があります。アップグレードプロセスのタスクには以下のものが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. CA Agile Vision のアップグレード
2. CA Agile Vision のデプロイ

### CA Agile Vision のアップグレード準備

CA Agile Vision を Spring 2011 (バージョン 2.8) から Spring 2011 (バージョン 2.10) にアップグレードする前に以下の設定手順を完了してください。

次の手順に従ってください:

1. CA Agile Vision ホーム ページから、[セットアップ]をクリックします。  
Salesforce.com の[個人設定]ページが表示されます。
2. [管理者設定]メニューから[監視]をクリックし、[スケジュール済みジョブ]に移動します。  
[All Scheduled Jobs]ページが表示されます。
3. 以下のジョブが存在する場合は削除します。
  - リリースの[日次チャート]データポイントの生成
  - スプリントの[日次チャート]データポイントの生成

## CA Agile Vision のアップグレード

パッケージのアップグレードを行います。

次の手順に従ってください:

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。テスト環境へインストールする場合は、URL の「login.salesforce.com」を「test.salesforce.com」に置き換えてください。  
  
https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04tA0000000Jhnl
2. [ログイン] ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
3. このバージョンの CA Agile Vision にアップグレードするために提供されたパスワードを入力し、[保存して終了] をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。

CA Agile Vision の新旧バージョンが表示されたアップグレードのサマリが表示されます。

4. [続行] をクリックして、アップグレード ウィザードの手順を実行します。
5. [次へ] をクリックします。  
[セキュリティ オプション] ページが表示されます。
6. [セキュリティ設定] オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
7. 対応するプロファイルに以下のアクセスレベルを設定します。

設定するアクセスレベル	対象のプロファイル
Agile Vision スーパーユーザ	Agile Vision スーパーユーザ
Agile Vision ユーザ	Agile Vision ユーザ
Product Vision スーパーユーザ	Product Vision スーパーユーザ
Product Vision ユーザ	Product Vision ユーザ
Vision スーパーユーザ	Vision スーパーユーザ
Vision ユーザ	Vision ユーザ

8. [次へ]をクリックして、続行します。

以下のチェック ボックスを含むページが表示されます。「インストール済みのアプリケーションが正常に機能しない原因となる Apex テスト失敗を無視する」。

9. チェック ボックスをオンにします。

10. [インストール]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。アップグレードの完了後、Salesforce.com から現在ログインに使用しているアカウントの電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このアップグレードには 30 分以上かかる場合があります。

11. ログアウトしてから、システム管理者として再度 CA Agile Vision にログインし、スケジュールしたジョブを実行します。

12. [セットアップ]ページに移動し、[管理者設定]の[監視]メニューから[スケジュール済みジョブ]を選択します。[提出者]ユーザがシステム管理者であることを確認します。[提出者]ユーザがシステム管理者ではない場合は、ジョブを削除し、ログアウト後、システム管理者としてログインします。

## CA Agile Vision のデプロイ

**注:** Salesforce.com で自動的にパッケージのデプロイが可能な場合は、[デプロイ]ボタンは無効になります。また、このセクションをスキップできます。[デプロイ]ボタンが有効な場合、このセクションの手順に従ってパッケージをデプロイします。

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。

[個人設定]ページが表示されます。

2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。

3. CA Technologies - PPM バージョン 2.10 がインストールされていることを確認します。

4. CA Technologies - PPM パッケージ名をクリックします。

[パッケージの詳細]ページが表示されます。

5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。  
パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。
6. [デプロイ]を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。  
`https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings`
8. 以下のいずれかを実行して、[保存]をクリックします。
  - CA Agile Vision のライセンスのみがある場合は、[Product Vision]チェックボックスをオフにします。
  - CA Product Vision のライセンスのみがある場合は、[Agile Vision]チェックボックスをオフにします。
  - CA Agile Vision および CA Product Vision の両方のライセンスがある場合は、両方のチェックボックスをオンにしておきます。

これで CA Agile Vision が完全にデプロイされました。

## CA Agile Vision バージョン 2.5.3 から Spring 2011 へのアップグレード方法

アップグレード プロセスでは、管理者は CA Agile Vision の準備、アップグレード、デプロイ、設定など複数のタスクを行う必要があります。アップグレード プロセスのタスクには以下のものが含まれます。

次の手順に従ってください:

1. CA Agile Vision をデプロイします。
2. 以下のサブタスクを使用して CA Agile Vision を設定します。
  - a. CA Agile Vision 内のタスクの[完了]ステータスの削除
  - b. ユーザ プロファイルの更新
  - c. CA Agile Vision のシステム管理者プロフィールの設定

3. ユーザのデータをアップグレードします。
4. CA Agile Vision のオブジェクトおよび属性の Chatter フィードをセットアップします。

**重要:** CA Agile Vision および CA Product Vision Spring 2011 (バージョン 2.10) へのアップグレードは、CA Clarity PPM 用の CA Agile Vision アドインへのアップグレードと同時にを行うように計画してください。リリースレベルを同じにするためです。

## CA Agile Vision バージョン 2.3 からバージョン 2.5 へのアップグレード

CA Agile Vision を Winter 2011 (バージョン 2.3) から Winter 2011 (バージョン 2.5.3) パッチ 1 にアップグレードするには、以下の手順に従います。

1. CA Agile Vision からログアウトし、ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。
2. [ログイン] ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

`https://login.salesforce.com/?startURL=%2Fpackaging%2FinstallPackage.apexp%3Fp0%3D04tA00000000R6ZN`

CA Agile Vision バージョン 2.5.3 へのアップグレード用のパスワードを入力し、[保存して終了] をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。

CA Agile Vision の新旧バージョンが表示されたアップグレードのサマリが表示されます。

3. [続行] をクリックして、アップグレード ウィザードの手順を実行します。
4. [次へ] をクリックします。  
[セキュリティ オプション] ページが表示されます。

5. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
6. 対応するプロファイルの以下のアクセスレベルを設定し、[次へ]をクリックして続行します。
  - Agile Vision Super-User アクセス - Agile Vision Super-User プロファイル用
  - Agile Vision User アクセス - Agile Vision User プロファイル用
  - Product Vision Super-User アクセス - Product Vision Super-User プロファイル用
  - Product Vision User アクセス - Product Vision User プロファイル用
  - Vision Super-User アクセス - Vision Super-User プロファイル用
  - Vision User オプション - Vision User プロファイル用
7. [次へ]をクリックして、続行します。

以下のチェック ボックスを含むページが表示されます。「インストール済みのアプリケーションが正常に機能しない原因となる Apex テスト失敗を無視する」。
8. チェック ボックスをオンにします。
9. [インストール]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。アップグレードの完了後、Salesforce.com から現在ログインに使用しているアカウントの電子メール アドレスに電子メール通知が送信されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このアップグレードには 30 分以上かかる場合があります。
10. ログアウトしてから、システム管理者として再度 CA Agile Vision にログインし、スケジュールしたジョブを実行します。
11. [セットアップ]ページに移動し、[管理者設定]の[監視]メニューから[スケジュール済みジョブ]を選択します。[提出者]ユーザがシステム管理者であることを確認します。[提出者]ユーザがシステム管理者ではない場合は、ジョブを削除し、ログアウト後、システム管理者としてログインします。

## CA Agile Vision バージョン 1.8 からバージョン 2.5 へのアップグレード

以下のセクションの手順を完了して、CA Agile Vision を Spring 2010 バージョン 1.8 (Team Edition および Enterprise Edition) から Winter 2011 バージョン 2.5.3 へアップグレードします。アップグレード後、既存のデータは最新のフィールドへマイグレートされます。

**注:** 現在使用している CA Agile Vision のバージョンを調べるには、Agile Vision ホーム ページから[バージョン情報]リンクをクリックします。

### CA Agile Vision のアップグレード準備

アップグレードを正常に行うために、CA Agile Vision ユーザがすべてログアウトしていることを確認してから、以下の手順を完了してください。

1. CA Agile Vision へログインします。  
CA Agile Vision のホーム ページが表示されます。
2. [設定]リンクをクリックして、Salesforce.com 上の[個人設定]ページに移動します。
3. [管理者設定]メニューから[監視]を選択します。  
[監視]ページが表示されます。
4. [スケジュール済みジョブ]リンクをクリックし、以下のスケジュール済みジョブを削除します。アップグレード後に Agile Vision ホーム ページにアクセスすると、これらのジョブは自動的に再スケジュールされます。
  - リリースの[日次チャート]データ ポイントの生成
  - スプリントの[日次チャート]データ ポイントの生成
5. [管理者設定]メニューから[セキュリティのコントロール]を選択し、[共有設定]に移動します。  
[共有設定]ページが表示されます。
6. [編集]をクリックして以下の設定を変更し、変更内容を保存します。
  - プライベートへのマイグレーション
  - プロジェクトからプライベートへ
  - パブリックの読み取り専用へのユーザ通知

7. [管理者設定]メニューから[ユーザの管理]を選択し、プロフィールに移動します。
8. Agile Vision スーパーユーザの隣の[編集]をクリックします。
9. [Custom Object Permissions]セクションまでスクロールし、[ユーザ通知]設定の[すべて表示]および[すべて変更]チェックボックスをオンにします。
10. 変更内容を保存して、ログアウトします。

### CA Agile Vision Spring 2010 (Version 1.8)から Winter 2011 (Version 2.5.3)へのアップグレード

1. CA Agile Vision からログアウトし、ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。  
`https://login.salesforce.com/?startURL=%2Fpackaging%2FinstallPackage.apexp%3Fp0%3D04tA00000000R6ZN`
2. [ログイン]ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。
3. CA Agile Vision バージョン 2.5.3 へのアップグレード用のパスワードを入力し、[保存して終了]をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。  
CA Agile Vision の新旧バージョンが表示されたアップグレードのサマリが表示されます。
4. [続行]をクリックして、アップグレード ウィザードの手順を実行します。
5. [次へ]をクリックします。  
[セキュリティ オプション]ページが表示されます。
6. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロフィール別にユーザ アクセスを設定します。
7. 対応するプロフィールの以下のアクセスレベルを設定し、[次へ]をクリックして続行します。
  - Agile Vision Super-User アクセス - Agile Vision Super-User プロファイル用
  - Agile Vision User アクセス - Agile Vision User プロファイル用

- Product Vision Super-User アクセス - Product Vision Super-User プロファイル用
  - Product Vision User アクセス - Product Vision User プロファイル用
  - Vision Super-User アクセス - Vision Super-User プロファイル用
  - Vision User オプション - Vision User プロファイル用
8. [次へ]をクリックして、続行します。  
以下のチェック ボックスを含むページが表示されます。「インストール済みのアプリケーションが正常に機能しない原因となる Apex テスト失敗を無視する」。
  9. チェック ボックスをオンにします。
  10. [インストール]をクリックします。  
ユーザのリクエストが進行中であることを示す、[処理中]ページが表示されます。アップグレードの完了後、Salesforce.com から現在ログインに使用しているアカウントの電子メールアドレスに電子メール通知が送信されます。Force.com プラットフォームの現在の負荷に応じて、このアップグレードには 30 分以上かかる場合があります。
  11. ログアウトしてから、システム管理者として再度 CA Agile Vision にログインし、スケジュールしたジョブを実行します。
  12. [セットアップ]ページに移動し、[管理者設定]の[監視]メニューから[スケジュール済みジョブ]を選択します。[提出者]ユーザがシステム管理者であることを確認します。[提出者]ユーザがシステム管理者ではない場合は、ジョブを削除し、ログアウト後、システム管理者としてログインします。

## CA Agile Vision のデプロイ

Salesforce.com で自動的にパッケージがデプロイされる場合、[デプロイ]ボタンは無効になります。また、このセクションをスキップできます。[デプロイ]ボタンが有効な場合、このセクションの手順に従ってパッケージをデプロイします。

1. **Agile Vision** ホーム ページから、[設定]をクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。
3. **CA Technologies - PPM** バージョン 2.5.3 がインストールされていることを確認します。
4. **CA Technologies - PPM** パッケージ名をクリックします。  
[パッケージの詳細]ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。  
パッケージコンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。
6. [デプロイ]を再度クリックします。
7. ブラウザ ウィンドウのアドレス バーに以下の URL を入力します。  
`https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/PackageSettings`  
[パッケージの設定]ページが表示されます。
8. **CA Product Vision** のライセンスを購入していない場合は、[Product Vision] チェック ボックスを選択解除し、変更を保存します。CA Product Vision のライセンスを購入している場合は、[CA サポート](#)にそれを有効にする方法を問い合わせてください。

## CA Agile Vision の設定

アップグレード後、以下の手順を完了して、標準的な Salesforce.com ページレイアウトで表示される新しいフィールドおよびオブジェクトを作成します。

1. CA Agile Vision にログインし、[設定]メニューをクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[作成]メニューを展開し、[オブジェクト]を選択します。  
[カスタム オブジェクト]リスト ページが表示されます。
3. [製品]をクリックします。  
[製品]ページが表示されます。
4. [ページレイアウト]セクションまでスクロールし、[ページレイアウトの割り当て]をクリックします。  
製品オブジェクトの[ページレイアウトの割り当て]ページが表示されます。
5. [割り当ての編集]をクリックします。
6. **Ctrl** キーを押し下げたまま各プロファイル名をクリックして、テーブル内の以下のプロファイルを選択します。
  - Agile Vision スーパーユーザ
  - Agile Vision ユーザ
  - システム管理者
7. [使用するページレイアウト]ドロップダウンから、[Winter 11]ページレイアウトを選択し、変更内容を保存します。
8. 以下のオブジェクトの手順をすべて繰り返します。[ユーザ ストーリー]オブジェクトについては、[詳細ストーリー レイアウト - Winter 11]ページレイアウトを選択します。
  - リリース
  - テーマ
  - ユーザ ストーリー
9. 変更を保存します。
10. 以下の Agile Vision ホーム ページにアクセスして、スケジュール済みのジョブを再スケジュールします。

<https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/tophome>

## データのアップグレード

以下の追加の手順を完了して、アップグレードを完了します。

1. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。  
`https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/aveeupgrade`
2. Agile Vision の[アップグレード]ページが表示されます。
3. [アップグレードを開始]をクリックします。  
アップグレード処理が始まります。
4. 必要に応じて、[アップグレードを続行]をクリックして、さらにレコードを処理します。

レコードがすべて処理されると、アップグレードが完了したというメッセージが表示された[Agile Vision のアップグレード]ページが表示されます。

5. ブラウザ ウィンドウのアドレスバーに以下の URL を入力します。  
`https://login.salesforce.com/?startURL=%2Fpackaging%2FinstallPackage.apexp%3Fp0%3D04tA0000000R6ZN`
6. CA Agile Vision バージョン 2.5.3 へのアップグレード用のパスワードを入力し、[保存して終了]をクリックします。必要なパスワードがない場合は、[CA サポート](#)にご連絡ください。
7. 手順に従ってアップグレード プロセスを完了し、[インストール]をクリックします。

## CA Agile Vision バージョン 1.5 および 1.7 から 1.8 へのアップグレード

以下のセクションの手順に従って、CA Agile Vision Spring 2010 エディションの以下のバージョンを CA Agile Vision Spring 2010 バージョン 1.8 (Team Edition および Enterprise Edition) にアップグレードします。

- CA Agile Vision バージョン 1.5 (Team Edition のみ)
- CA Agile Vision バージョン 1.7 (Team Edition と Enterprise Edition)

アップグレード後、既存のデータは最新のフィールドへマイグレートされます。

以下に、移行の例をいくつか示します。

- アップグレード前に、タスクに対して時間がログ記録されている場合は、アップグレード後、タスク作業ログが作成されます。
- アップグレード前に、ユーザストーリーにコメントが存在する場合、アップグレード後、それらのコメントは[コメント]フィールドではなく、ユーザストーリーの詳細の[コメント]セクションに表示されます。

### CA Agile Vision バージョン 1.8 のインストール

以下の手順を完了して、CA Agile Vision バージョン 1.8 をインストールします。

1. CA Agile Vision からログアウトし、ブラウザ ウィンドウに以下の URL を入力します。

`https://login.salesforce.com/?startURL=%2Fpackaging%2FinstallPackage.apexp%3Fp0%3D04tA00000000QJe3`

2. [ログイン] ページで、システム管理者のユーザ名およびパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
3. アップグレード用に提供されているパスワードを入力し、[サブミット] をクリックします。

パッケージの詳細およびコンポーネントが表示された[パッケージ インストールの詳細] ページが表示されます。

4. [続行] をクリックします。

パッケージ インストーラの [CA Agile Vision コア 手順 1] ページが表示されます。

5. [次へ] をクリックします。

パッケージ インストーラの [Agile Vision コア 手順 2] ページが表示されます。

6. [セキュリティ設定]オプションを選択して、プロファイル別にユーザ アクセスを設定します。
7. 対応するプロファイルの以下のアクセスレベルを設定し、[次へ]をクリックして続行します。
  - Agile Vision Super-User アクセス - Agile Vision Super-User プロファイル用
  - Agile Vision User アクセス - Agile Vision User プロファイル用パッケージ インストーラの[Agile Vision コア 手順 3]ページが表示されます。
8. [インストール済みのアプリケーションが正常に機能しない原因となる Apex テスト失敗を無視する]チェック ボックスをオンにします。
9. [インストール]をクリックします。

ユーザのリクエストが進行中であることを示す[処理中]ページが表示され、インストール完了時に、電子メール通知を受信します。

## CA Agile Vision のデプロイ

Salesforce.com で自動的にパッケージがデプロイされる場合、[デプロイ]ボタンは無効になります。また、このセクションをスキップできます。[デプロイ]ボタンが有効な場合、以下のセクションの手順に従ってパッケージをデプロイします。

1. Agile Vision ホーム ページから、[設定]をクリックします。

[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[インストール済みパッケージの参照]を選択します。
3. Agile Vision コア パッケージ 1.8 がインストールされていることを確認します。
4. [Agile Vision コア]パッケージ名をクリックします。

[パッケージの詳細]ページが表示されます。
5. [インストール済みパッケージの詳細]セクションで[デプロイ]をクリックします。

パッケージ コンポーネントが表示された[パッケージのデプロイ]ページが表示されます。
6. [デプロイ]を再度クリックします。

以下の追加の手順を完了して、アップグレードを完了します。

1. ブラウザ URL で、以下のように、「apex/」の後ろに「aveeupgrade」と入力します。

`https://ca-agile.na7.visual.force.com/apex/aveeupgrade`

2. Agile Vision の[アップグレード]ページが表示されます。
3. [アップグレードを開始]をクリックします。  
アップグレード処理が始まります。
4. 必要に応じて、[アップグレードを続行]をクリックして、さらにレコードを処理します。

レコードがすべて処理されると、アップグレードが完了したというメッセージが表示された[Agile Vision のアップグレード]ページが表示されます。

### CA Agile Vision の設定

アップグレード後、以下の手順を完了して、標準的な Salesforce.com ページレイアウトで表示される新しいフィールドおよびオブジェクトを作成します。

1. CA Agile Vision にログインし、[設定]メニューをクリックします。  
[個人設定]ページが表示されます。
2. [アプリケーションの設定]メニューから[作成]メニューを展開し、[オブジェクト]を選択します。  
[カスタム オブジェクト]リスト ページが表示されます。
3. [CA Agile Vision ユーザ]ラベルをクリックします。
4. [ページレイアウト]セクションまでスクロールし、[ページレイアウトの割り当て]をクリックします。  
[ページレイアウトの割り当て]ページが表示されます。
5. [割り当ての編集]をクリックします。
6. Ctrl キーを押し下げたまま各プロファイル名をクリックして、テーブル内のプロファイルをすべて選択します。
7. [使用するページレイアウト]ドロップダウンから、[Summer 10]ページレイアウトを選択し、変更内容を保存します。

8. 以下のすべてのオブジェクトに対して、すべての手順を繰り返します。
- プロジェクト
  - リリース
  - スクラム チーム メンバ
  - ストーリー依存性
  - タスク
  - チーム
  - ユーザ ストーリー



# 第 4 章: CA Agile Vision のアドイン

---

## Agile Vision アドインのダウンロード

このセクションでは、CA Agile Vision の以下の統合のために [CA サポート](#) からアドインをダウンロードする手順について説明します。

- CA Clarity PPM
- JIRA
- HP Quality Center

アドインのダウンロード後、それをインストールする手順の詳細については、「*CA Agile Vision 統合ガイド*」を参照してください。

### CA Agile Vision アドインのダウンロード方法

1. ご自分の CA 電子メール アドレスとパスワードで、[support.ca.com](https://support.ca.com) にログインします。
2. [Support]メニューから[Download Center]をクリックします。  
[Download Center]ページが表示されます。
3. 以下の製品情報を選択し、[Go]をクリックします。
  - CA Agile Vision Enterprise Edition Integration - FORCE.COM
  - Release 3.00
  - Gen level 0000[Product Downloads]ページが表示されます。
4. [Product Components]セクションまでスクロールし、以下の zip ファイルの隣の[Download]をクリックします。
  - GEN04094115E.zip - JIRA および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード
  - GEN04094329E.zip - HP Quality Center および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード
  - GEN4094445E.zip - CA Clarity PPM および CA Agile Vision 統合用のアドインのダウンロード

## CA Vision アドインのインストール

### CA Vision アドインをインストールする方法

1. Clarity システム管理 (NSA) アプリケーションにログインします。
2. CA Clarity PPM アプリケーション (app) およびバックグラウンド (bg) サービスをシャットダウンします。

詳細については、「CA Clarity PPM インストール ガイド」を参照してください。

3. Clarity アプリケーション サーバに CA Vision アドインをインストールします。  
詳細については、CA Agile Vision および CA Agile Vision の「統合ガイド」を参照してください。
4. Clarity app と bg サービスを再起動します。

## CA Clarity PPM 用の CA Vision アドインのアップグレード

以下の手順では、CA Clarity PPM システム管理者が CA Vision アドイン バージョン 2.5.3 を CA Vision アドイン Winter 2011 バージョン 2.8 にアップグレードする方法について説明します。

1. 最新の CA Vision アドインをインストールします。
2. CA Vision のプロセスとジョブを無効にします。
3. CA Vision アドインを適用します。
4. CA Vision アドインを設定します。

## CA Vision のプロセスとジョブの無効化

### CA Clarity PPM でプロセスとジョブを無効にする方法

1. CA Clarity PPM アプリケーションにログインします。
2. [パーソナル]メニューから[レポートとジョブ]を選択します。
3. [ジョブ]をクリックして[スケジュール済みジョブ]に移動し、以下に示すジョブのスケジュール済みインスタンスをすべて削除します。
  - CA Vision 製品同期
  - Agile Vision タイムシート同期

4. 一覧表示されているジョブの実行中のインスタンスがないことを確認します。
5. [パーソナル]メニューから[オーガナイザ]を選択します。  
アクションアイテムリストが表示されます。
6. [プロセス]をクリックし、[開始済み]に移動します。「実行中」または「停止中」の状態にある任意の AV フィールド ロック プロセス インスタンスをキャンセルします。

## CA Vision アドインの適用

### CA Vision アドインを適用する方法

1. CA Clarity PPM 管理ツールにログインします。
2. [CA Clarity Studio]メニューから[アドイン]を選択します。  
アドインリストが表示されます。
3. CA Vision アドインをクリックします。  
アドインの詳細が表示されます。
4. [適用]をクリックします。  
アドインの更新またはインストールを確認するプロンプトが表示されます。
5. [はい]をクリックし、アップグレード プロセスが完了するまで数分待ちます。  
CA Vision アドインの詳細が表示され、すべての項目のステータスが「インストール済み」として示されます。
6. [データ管理]メニューから[プロセス]を選択します。  
使用可能なプロセスのリストが表示されます。
7. AV フィールド ロック プロセスをクリックして開き、コンテンツ メニューから[検証]をクリックします。
8. すべての検証オブジェクトを選択し、[すべてを検証してアクティブにする]をクリックします。  
検証が完了すると、オブジェクトのステータスが[検証済み]に、モードが[アクティブ]にそれぞれ変わります。

## CA Vision アドインの設定

### CA Vision アドインを設定する方法

1. 以下の手順に従ってプロジェクト オブジェクトを開きます。
  - a. CA Clarity PPM 管理ツールで、[CA Clarity Studio]メニューから[オブジェクト]を選択します。
  - b. プロジェクト オブジェクト名を使用してフィルタします。  
オブジェクトリストが表示されます。
  - c. プロジェクト オブジェクトをクリックして開きます。
2. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性のラベルを変更します。
  - a. コンテンツ メニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクト プロパティ ビューの[フィールド]リンクをクリックします。  
プロパティフィールドリストが表示されます。
  - b. [CA Vision にリンク済み]属性について、プロパティラベルを「CA Vision にリンク済み」に変更し、[保存して終了]をクリックします。  
オブジェクト定義ビューが表示されます。
3. [CA Vision にリンク済み]属性の[必須]要件を削除します。
  - a. コンテンツ メニューから[属性]をクリックし、[CA Vision にリンク済み]属性をクリックします。
  - b. [Presence Required]チェック ボックスをオフにし、[保存して終了]をクリックします。
4. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性をユーザ インターフェース内で使用できるようにします。
  - a. コンテンツ メニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクト プロパティ ビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。  
プロパティレイアウトが表示されます。
  - b. 概要プロパティを展開し、[概要]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。  
セクションのプロパティが表示されます。
  - c. [選択済み] (左の列)から[CA Vision にリンク済み]を選択し、それを[利用可能]に移動して、[保存して終了]をクリックします。  
プロパティレイアウトが表示されます。

- d. [戻る]をクリックしてオブジェクト定義ビューに移動します。
5. 以下の手順に従って、[CA Vision にリンク済み]属性の[必須]要件をリセットします。
  - a. コンテンツメニューから[属性]をクリックし、[CA Vision にリンク済み]属性をクリックします。
  - b. [Presence Required]チェックボックスをオンにし、[保存して終了]を選択します。

オブジェクト定義属性が表示されます。
6. 以下の手順に従って、プロジェクトプロパティビューの属性リストの最上位に[CA Vision にリンク済み]属性を配置します。
  - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクトプロパティビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。

プロパティレイアウトが表示されます。
  - b. 概要プロパティを展開し、[概要]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。
  - c. [選択済み](左の列)から[CA Vision にリンク済み]を選択し、それを[選択済み](左の列)の最上位に移動して、[保存して終了]をクリックします。

プロパティレイアウトが表示されます。
  - d. [戻る]をクリックしてオブジェクト定義ビューに移動します。
7. 以下の手順に従って、プロジェクトプロパティビューの[統合ステータス]セクションをセットアップします。
  - a. コンテンツメニューから[ビュー]をクリックし、プロジェクトプロパティビューの[Layout: Edit]リンクをクリックします。

プロパティレイアウトが表示されます。
  - b. CA Vision プロジェクトプロパティを展開し、[統合ステータス]セクションを展開します。
  - c. [統合ステータス]セクションの[プロパティとレイアウト]アイコンをクリックします。

セクションのプロパティが表示されます。
  - d. [保存して終了]をクリックします。

プロパティレイアウトが表示されます。
  - e. [戻る]をクリックします。

オブジェクト定義ビューが表示されます。

8. [発行]をクリックしてビューを発行します。  
確認のプロンプトが表示されます。[はい]をクリックして、ビューの発行を確認します。
9. 事前定義されたレベルで実行されるように以下のジョブを再スケジュールします。
  - CA Vision 製品同期
  - Agile Vision 作業ログ同期
10. Clarity app と bg サービスを再起動します。